

# 解決策の立案

情報の科学 第19回授業

04問題解決

対応データ 17exp19.xlsx

# 問題発見と整理について(復習)

1 幅広くアイデアを広げ、まとめる(広げる)

- フレームワーク、ブレインストーミング
- アイデアカード

2 原因をより深く考える(なぜなぜ)

- ロジックツリー、連関図、特性要因図
- IE図

今回の  
内容

3 解決策をより具体的にしていく(どうすれば)

- ロジックツリー、特性要因図
- IE図

# 思考を図に整理する(復習)

- 枝分かれの図
  - マインドマップ、メモリーツリー
    - 関連する内容を自由に枝分かれさせて記述
  - ロジックツリー(教. p94)
    - 「なぜ」「どうすれば」など、展開を決めて記述
  - 樹形図(数学)
    - 順番に、すべてのパターンを書き漏らさないことを重視
- MECE(教. p93)
  - 漏らさず、重複無く

# ロジックツリー（復習）

- 原因や解決方法を考える際、枝葉が茂る木のような形にものごとを分解・整理する技術
- 「なぜなぜツリー」「どうすればツリー」などがある

理想

いい点取りたい



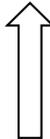
具体的な理想

数学 I で80点



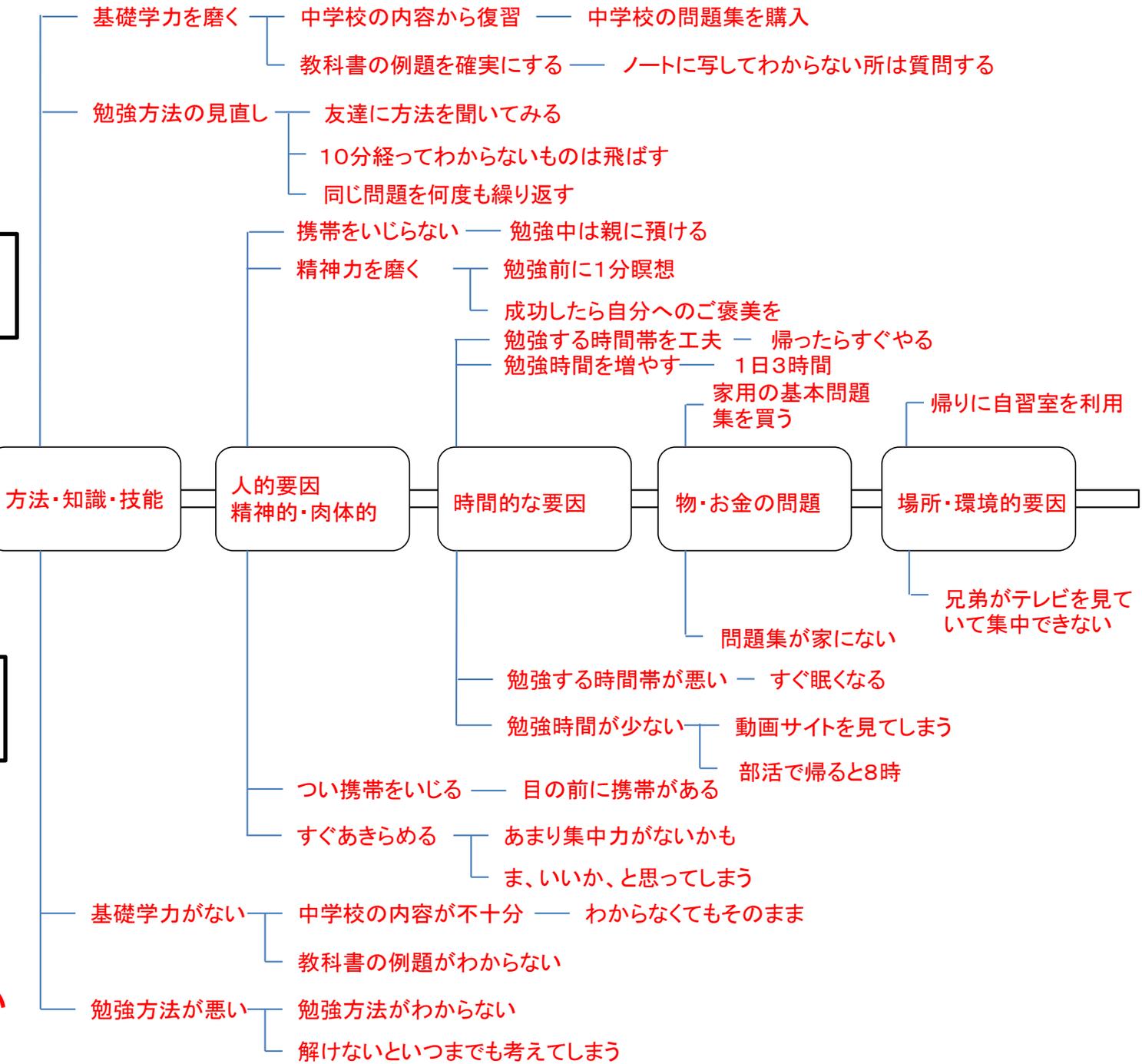
具体的な現実

数学 I が40点



現実

テストの点が悪い

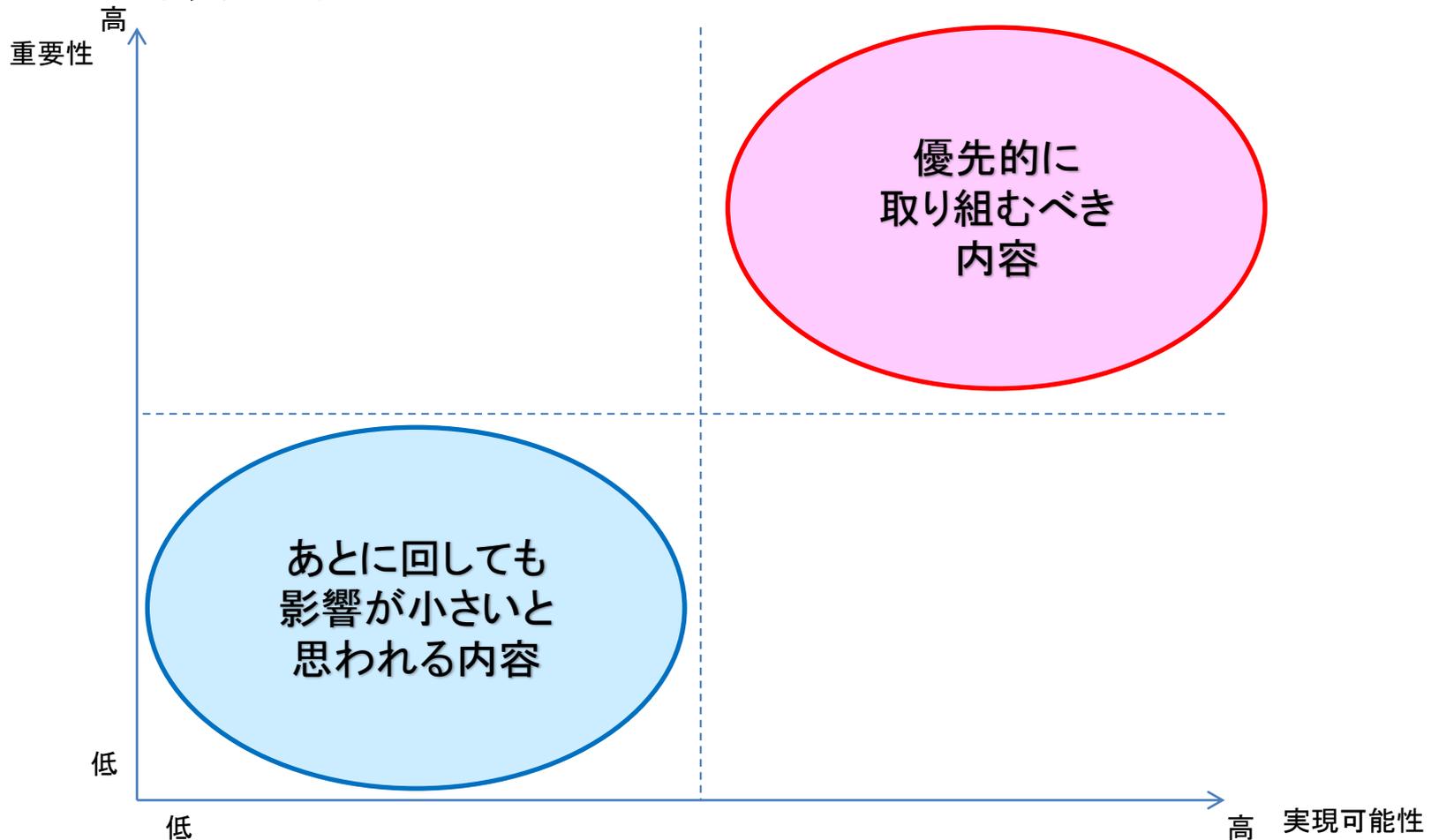


# 演習1(10分)

- 「どうすれば」ツリーをIE図にまとめてみよう
- IE図をもとに、相手に自分の問題に対する分析を説明しよう
- 終わったら、「このような解決策もあるのでは」というコメントを相手からもらおう。
  - 「実現可能性」にこだわりすぎなくてもOK！
  - 「批判の禁止」で！ 建設的な意見を！

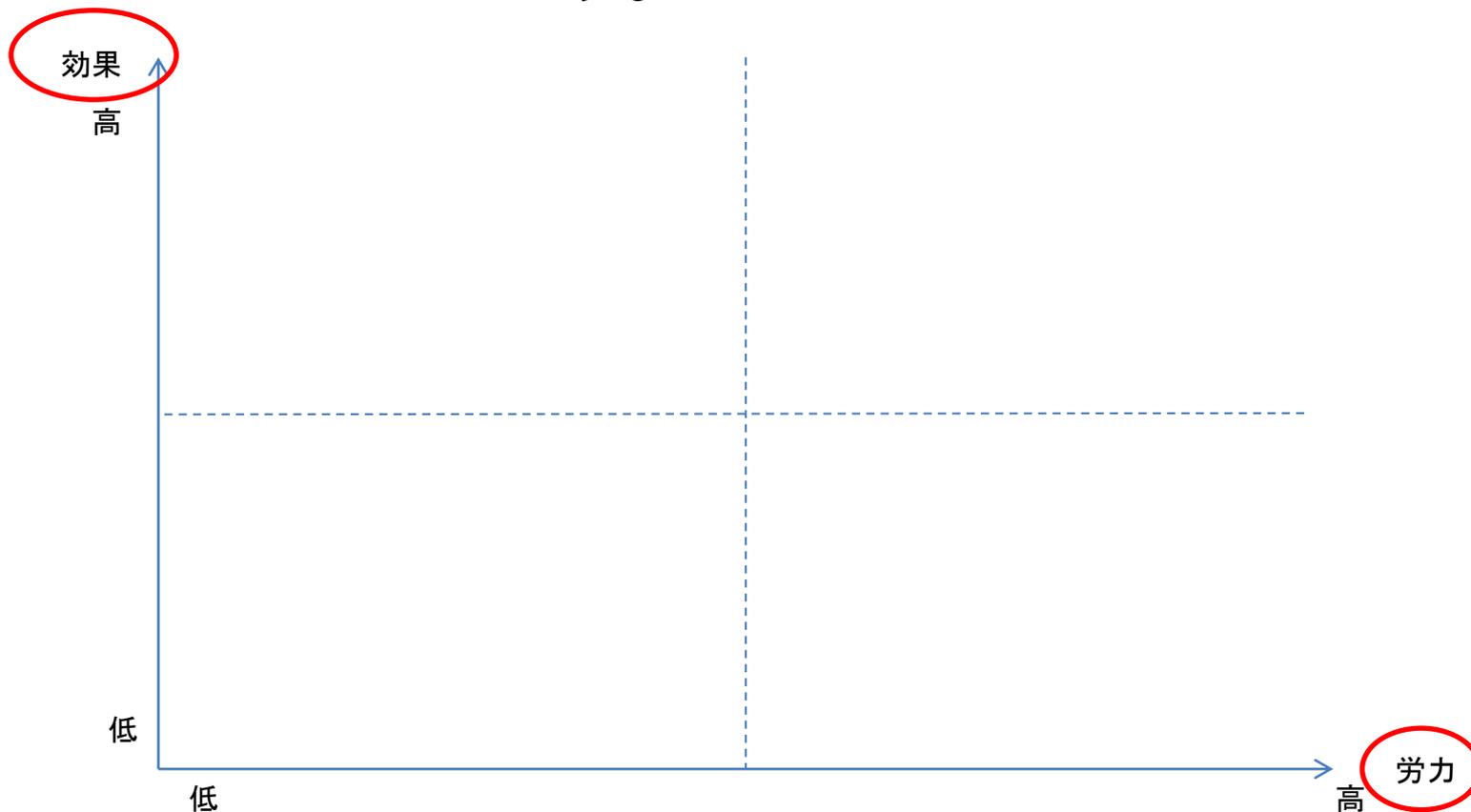
# 挙げられた内容の評価(1)

- 座標軸: 2つの異なった視点をもとに、事柄を分類配置



# 演習2(10分)

- 演習5で作成したIE図の右端の項目について、「労力」「効果」という2軸で、座標軸を書いて埋めてみよう。



# 挙げられた内容の評価(2)

- マトリックス図

- 複数の異なった視点をもとに、重要度を表で表す

	効果	所要時間	労力	コスト
ランニング	◎	×	○	◎
筋力トレーニング	○	×	△	△
栄養バランス	△	△	×	△
栄養の摂取	△	◎	◎	△
練習試合	△	×	×	×